

使用に当たって、この説明文書を必ず読むこと。
また、必要なときに読めるよう大切に保存すること。

男性ホルモン軟膏剤 プリズマ[®] 男性ホルモン軟膏

第1類医薬品

本品は男性ホルモンの分泌不足によっておきる勃起力減退、精力減退や男性更年期障害の各症状に対して、その治療を目的としてつくられた医薬品です。男性ホルモンは主に睾丸から分泌されますが、普通、加齢と共に睾丸の機能も衰え、その結果、体内の男性ホルモンが不足してきます。有効成分のテストステロン（男性ホルモン）は局所に直接すり込むことにより、肝臓などへの負担も少なく男性ホルモンの不足を補い、上記症状の改善を期待することができます。

使用上の注意

してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

1. 次の人は使用しないこと

- (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2)ご使用前に本剤をチューブから5mm程度出し、内股などの皮膚のうすい所にすり込んで、翌日中に発疹、発赤、かゆみ、かぶれ、はれなどの症状があらわれた人。
- (3)アンドロゲン依存性悪性腫瘍〔例えば前立腺腫瘍、乳腫瘍（悪性）〕及びその疑いのある人。
- (4)女性。
- (5)15歳未満の小児。
- (6)排尿困難を伴う前立腺肥大のある人。
- (7)前立腺検査*の結果、前立腺特異抗原 (PSA) の値が2.0ng/mL以上の人（医師の判断に従うこと）。

※有効成分（テストステロン）は前立腺腫瘍を進行させるおそれがある。

- a) 特に50歳以上の男性は前立腺腫瘍の罹患率が高まるため、本剤のご使用前に前立腺検査を受ける必要がある。
- b) 継続的にご使用の人は定期的な検査を受ける必要がある。
- c) 検査の結果、異常があった場合には直ちに本剤のご使用を中止して、医師又は薬剤師に相談すること。

(8)睡眠時無呼吸症候群である人。

2. 次の部位には使用しないこと

- (1)目や目の周囲、粘膜（口腔、鼻腔等）。
- (2)陰茎部先端（尿道口）。
- (3)外傷、炎症、湿疹、ただれ、化膿などのある部位。

3. 本剤を使用している間は、男性ホルモンを含まないずれの医薬品も使用しないこと

4. 使用者以外へ付着させないこと

- (1)ご使用後は石鹸とぬるま湯で手を十分に洗うこと。
- (2)本剤を使用者以外の人に付着させないように注意すること。付着した場合は直ちに洗い流すこと。
- (3)塗布部が他の人と接触する可能性があるときは、塗布部を石鹸とぬるま湯で十分に洗い流すこと。



相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)前立腺肥大ではあるが、排尿困難を伴わない人。
- (3)薬や化粧品などによりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ等）を起こしたことがある人。
- (4)重度の心臓病、腎臓病、肝臓病、高血圧またはその既往歴のある人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

関係部位	症 状
皮膚（塗った所）	発疹・発赤、はれ、かぶれ、かゆみ、水疱、にきび

3. 1ヶ月くらい使用しても症状の改善がみられない場合は、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

4. 誤った使い方をしてしまった場合は、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

【効能・効果】

男性ホルモン分泌不足による神経衰弱諸症、男性更年期諸症、男性老衰現象の予防及び恢復（快復）、恥部無毛症

症状の解説

神経衰弱諸症：早漏、勃起力減退、精力減退、イライラ等の症状。

男性更年期諸症：男性ホルモンの減少に伴う諸症状を指します。

【用法・用量】

表皮の薄い部位や^{その}他の患部^注に清浄にして、1回約0.1g（小豆大）宛1日1～2回^{手にとってすりこんでください}指掌を以て塗擦する。

注）その他の患部：亀頭部、陰囊（睪丸）など

【用法・用量に関連する注意】

1. 定められた用法・用量を厳守すること。
2. 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けること。
3. ご使用前後には、手指をよく洗うこと。
4. 塗布部を清潔にしてから使用すること。
5. 外用にのみ使用すること。

【成分・分量】

本品1g中

有効成分	「局外規」テストステロン ……10mg
------	---------------------

添加物 親水ワセリン、エタノールを含有する。

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
2. 小児の手の届かない所に保管すること。
3. 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり、品質が変わる。）
4. 使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
5. 本剤が出すぎた場合は、チューブに戻さないこと。
6. 本剤をチューブから出しにくい場合は、手のひら等で1～2分温めて使用すること。

本製品に関するお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

原沢製薬工業株式会社 お客様相談室

電話：(03) 3441-5191

受付時間：9:30～17:00（土、日、祝日を除く）

製造販売 

原沢製薬工業株式会社

東京都港区高輪3丁目19番17号